



歌で復興支援

チャリティコンサート「第10回小さな歌の会」



チャリティコンサート「第10回小さな歌の会」が10月20日、なみの高原やすらぎ交流館で開かれ、出演者68人が、十八番の歌を熱唱、集まった観客からたくさんの拍手が送られました。

コンサートは、市在住の歌手東よしおさんが、平成2年旧一の宮町を襲った7・2水害で被災した経験から、災害を受けた地域を支援し

ようと、平成21年から毎年開催。コンサートで集まった募金を被災地へ送っています。

この日は、東さんと同じ所属歌手の古澤春美さん、野上ゆみさんも応援に駆けつけ、3人のプロの歌声に観客は聞き入っていました。

また、この日集まった募金は、翌日阿蘇市に贈られました。

躍動!

※敬称略

九州・全国大会出場の子どもたちを紹介

●第24回全九州テコンドー選手権大会 (8月25日、長崎県)

- ▶小学4年女子(重量級)
【準優勝】 森永 せりあ(宮地小4年)
- ▶小学5年男子(重量級)
【準優勝】 富田 大翔(宮地小5年)
- ▶中学男子(-55kg) ※3連覇、3回目
【優勝】 森永 修斗(一の宮中1年)
- ▶中学女子(-42kg) ※2回目
【優勝】 山本 悠菜(阿蘇中1年)
- ▶一般男子(-54kg) ※2連覇・5回目
【優勝】 津田 輝史朗(熊本総合医療リハビリテーション学院・一の宮中出身)
- ▶一般女子(-46kg) ※5回目
【優勝】 津田 ひかる(熊本学園大学3年・阿蘇中出身)



●第26回全日本マーチングコンテスト (11月24日、大阪府)

森 航(熊本工業高校3年、阿蘇北中出身)
金子 瑠華(同校2年、一の宮中出身)
青柳 祐香(玉名女子高校2年、一の宮中出身)

●第15回全日本高等学校吹奏楽大会 (11月9日～10日、神奈川県横浜市)

宮崎 さくら(八代百合学園高校2年、阿蘇中出身)

●第68回国民体育大会 (10月4日～7日、東京都)

▶ソフトテニス
森本 峻太(文徳高校3年、一の宮中出身)

伝統の技を引き継ぐ 稲手づくり

なべづる線沿線4地区(南宮原、海神、西小島、西福原)の有志でつくる地域づくりグループ「なべづる大学」(今村隆孝学長)が9月29日、干し草を束ねる用途で使用されていた「稲手」作り講習会を開きました。

昔ながらの農業技術を伝承しようと同会が企画。会員宅の納屋を「教室」に参加した会員15人は、講師の地元農家の手ほどきを受けながら「わら」をねじり、稲手を次々に作り上げました。



参加者は慣れない手つきながらも、伝統の技を習得しようと懸命に取り組んでいました。

ことしも盛り上がりました！

第9回阿蘇市民スポーツ大会

第9回阿蘇市民スポーツ大会(市主催)が10月5日、阿蘇体育館で行われ、2種目の競技で熱戦が繰り広げられました。この大会は、市民の健康増進と親睦を図るため、毎年開催されるもので、例年多くの方々に参加いただいています。こゝとしも、総勢98名の参加があり、次のチームが入賞しました。



ミニバレーの部優勝
阿部牧場Aチーム



ソフトバレーの部優勝
イエス

【大会結果】

ミニバレーの部

- 優勝 阿部牧場Aチーム
- 2位 阿部牧場Bチーム
- 3位 インパルス

ソフトバレーの部

- 優勝 イエス
- 2位 アグレッッシ部
- 3位 SKY LARK

男女共同参画を川柳にのせて・・・

男女共同参画川柳入賞作品決まる

家事分担いつからやるの今でしょう

【小・中学校の部】 最優秀賞 勝木倫太郎さん(一の宮中2年)

家事分担親の手本が子の手本

【一般・大学生の部】 最優秀賞 森下重隆さん(宮地)

阿蘇市男女共同参画審議会主催による男女共同参画川柳の入賞作品が決まりました。家族や夫婦間の心情を詠ったものや、社会の中で男女共同参画のあり方などを詠ったものなど、審査の結果、最優秀賞に次の2句が選ばれました。

入賞作品については、人権ファミリーや、エスティバルなどで展示します。どうぞご覧ください。

復興に弾みを！さかなし復幸まつり



九州北部豪雨災害で甚大な被害があった一の宮町坂梨地区で9月29日、復興へ弾みをつけようと、坂梨青年会が「さかなし復幸まつり」を開きました。

坂梨公民館の会場には、さまざまな露店が並び賑わいを見せ、ステージでは、地元のアソ☆KOI華流伝羅を中心に、県内有数の団体が集結しYOSAKI

〇I演舞を披露。あそBe隊コンサートや3B体操など多彩なステージに、訪れた人たちは楽しんでいました。

同会の寺澤会長は「坂梨はまだ復興の半ば。これから困難なこともあると思うが、このイベントで少しでも地域が元気になってもらえれば嬉しい」と話していました。

フラダンスチーム「カ・ナニ・メケアロハ・オルオル」



音楽で復興を支援
阿蘇アグリステイター音楽祭

阿蘇アグリステイター音楽祭が9月22日、23日の2日間、西町の果実園「果実の国カップルズ」で開かれました。

同園を営業者する中山勝博さんが、音楽を通じて昨年の九州北部豪雨災害の復興に弾みをつけようと企画しました。

市出身のピアニスト志賀総学さんや地元フラダンスチーム「カ・ナニ・メケアロハ・オルオル」、鹿児島で活躍するフォークデュオ「いちじく」などが出演。集まった観客は、ぶどうの木の下で次々と披露される多彩な音楽などを楽しんでいました。



フォークデュオ「いちじく」

**地産物手渡し
交通事故防止を啓発**

秋の交通安全運動キャンペーン

秋の交通安全運動に合わせ、ドライバーに安全運転を心掛けてもらおうと9月25日、阿蘇警察署でキャンペーンが行われました。

これは、阿蘇地区安全運転管理者等協議会（渡邊富廣会長）が主催したもので、国道沿いで交通安全啓発プレートを掲げたり、地産物のトマト

とキュウリ、啓発チラシなどをドライバーに直接手渡したりするなどして、交通事故防止を呼びかけました。渡辺会長は「思いやりを持った運転を心がけてもらいたい」と話していました。



新聞記事を親子の会話のかけはしに

生涯学習特別講座「新聞で生き生きライフ」

新聞を教材として活用するNIE教育の一環として、新聞を使って親子で楽しく学んでもらおうと10月12日、農村環境改善センターで「新聞で生き生きライフ」（市主催）が行われました。

講座では、講師に熊本日日新聞社NIE専門委員の越地真一郎氏を招き、新聞を題材にしたクイズや新聞の役割や意義について講義があり、参加した保護者

は「子どもは普段新聞を読まないのに、これを機に新聞を読むきっかけになれば」と期待を寄せていました。

市は昨年2月に、熊本日日新聞社とNIE協定を締結し、積極的なNIE教育に取り組んでおり、11月12日、26日には大人向けのNIE講座も予定。新聞記事をさまざまな角度から読み解き仕事などに生かすための楽しい講座です。お



新聞を使って講義する越地氏（写真左）

申し込みは電話（市教育委員会 ☎22・3229）で受け付けていますので、ぜひご参加ください。